

## 2007 年 12 月の東北地方の天候 【 12 月の特徴 】

- ・ 寡照
- ・ 東北太平洋側の多雨

### （１）2007 年 12 月の概況

この期間、上旬は冬型の気圧配置となる日が多かったが、中旬以降は冬型の気圧配置となる日は少なく、低気圧や気圧の谷が日本海から北日本を通過することが多かった。このため、東北地方の日照時間はかなり少なく、東北太平洋側の降水量はかなり多かった。

月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北地方でかなり少ない。降雪の深さの月合計平年比は、東北日本海側は 49% で少なく、東北太平洋側は 21% でかなり少ない。

### （２）各旬の天候経過

**上旬：**冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。

2 日未明、発達した雷雲の通過に伴い、山形県酒田市で突風が吹き、倉庫のトタン屋根が飛散するなどの被害が発生した。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。

**中旬：**気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多かった。東北太平洋側では晴れの日が多かったが、時々気圧の谷の影響を受け、平年と比べて日照時間はかなり少なかった。13 日は二つ玉低気圧が通過し、広い範囲で雨となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

**下旬：**気圧の谷が短い周期で通過し、曇りや雨または雪の日が多かった。低気圧は日本の南岸を通過することが多く、特に、28 日夜から 29 日にかけて、日本の南岸から三陸沖に進んだ低気圧と日本海を進んだ低気圧の影響により、南の温かく湿った空気が入り込み、東北地方はまとまった雨となった。その後、冬型の気圧配置となって日本海側ではまとまった雨や雪となった。

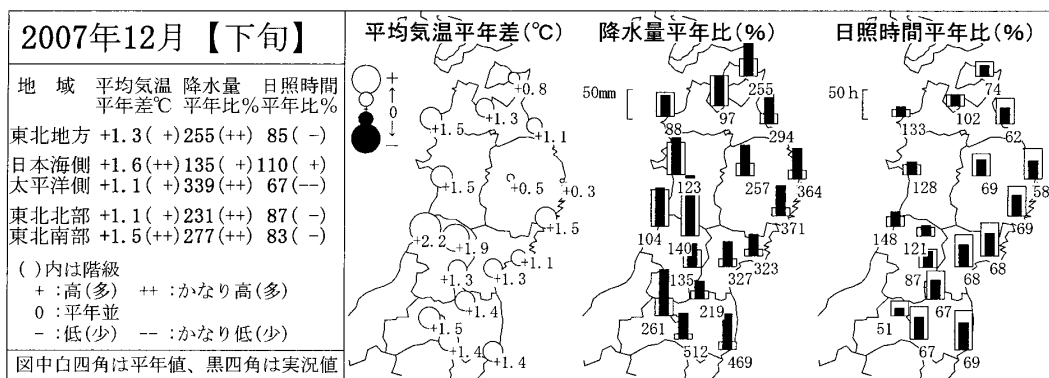
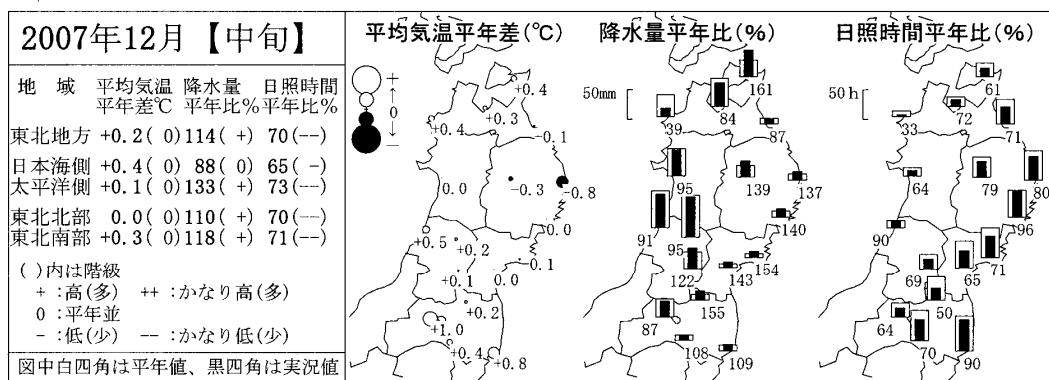
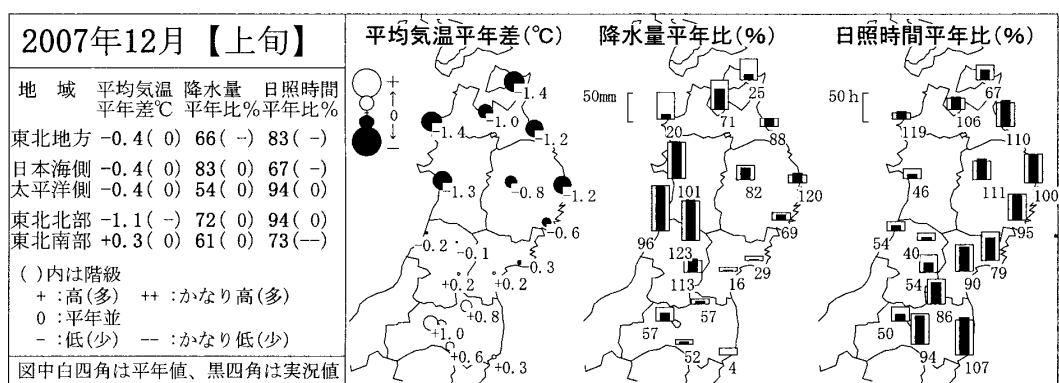
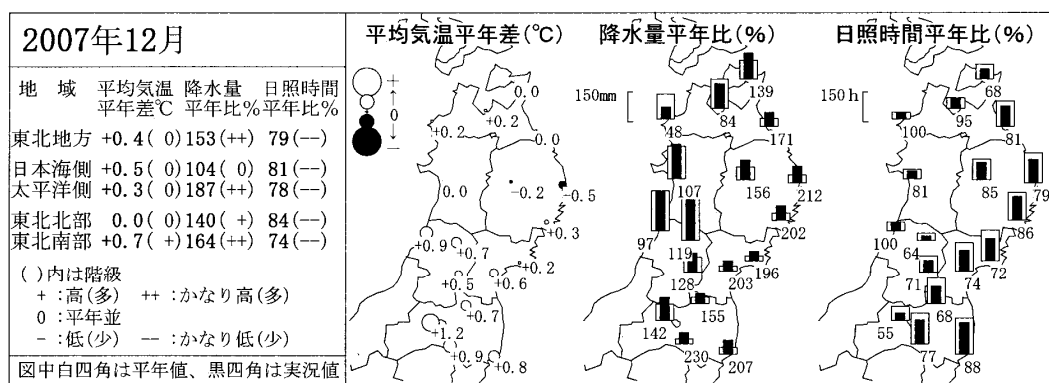
平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

### (3) 2007年12月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 2007 年 12 月の月気候表

青森	1.5 ( +0.2 )	○	125.0 ( 84 )	○	18	52.0 ( 95 )	○	85 ( 170 )	—*	26 ( 51 )	—
深浦	2.8 ( +0.3 )	○	60.0 ( 48 )	—*	14	34.4 ( 100 )	○	13 ( 77 )	—*	7 ( 17 )	—
むつ	1.2 ( 0.0 )	○	130.0 ( 139 )	—*	15	50.0 ( 68 )	—*	23 ( 101 )	—*	8 ( 24 )	—*
八戸	1.6 ( 0.0 )	—	71.5 ( 171 )	—*	7	103.5 ( 81 )	—*	23 ( 52 )	—	10 ( 10 )	○
秋田	2.8 ( 0.0 )	○	175.0 ( 107 )	+	23	38.6 ( 81 )	—	41 ( 79 )	—*	9 ( 16 )	—
盛岡	0.6 ( -0.2 )	—	100.5 ( 156 )	—*	13	89.1 ( 85 )	—	70 ( 68 )	○	26 ( 17 )	+
大船渡	3.8 ( +0.3 )	○	74.5 ( 202 )	—*	11	120.2 ( 86 )	—*	2 ( 11 )	—	2 ( 4 )	○
宮古	2.5 ( -0.5 )	—	84.5 ( 212 )	+	10	119.2 ( 79 )	—*	1 ( 19 )	—	1 ( 6 )	—
仙台	4.9 ( +0.6 )	○	53.5 ( 203 )	+	6	106.6 ( 74 )	—*	— ( 14 )	—*	0 ( 7 )	—*
石巻	3.6 ( +0.2 )	○	48.5 ( 196 )	—*	7	112.3 ( 72 )	—*	1 ( 7 )	—	1 ( 5 )	—
山形	2.9 ( +0.5 )	○	98.5 ( 128 )	+	18	60.2 ( 71 )	—*	43 ( 92 )	—	20 ( 23 )	○
新庄	2.1 ( +0.7 )	+	252.0 ( 119 )	+	26	24.0 ( 64 )	—*	112 ( 168 )	—	32 ( 50 )	○
酒田	5.2 ( +0.9 )	+	196.0 ( 97 )	○	27	44.7 ( 100 )	○	16 ( 64 )	—*	6 ( 13 )	—
福島	4.9 ( +0.7 )	+	50.5 ( 155 )	+	11	89.0 ( 68 )	—*	2 ( 35 )	—*	2 ( 10 )	—*
若松	3.1 ( +1.2 )	—*	118.0 ( 142 )	+	20	39.7 ( 55 )	—*	86 ( 100 )	○	67 ( 28 )	—*
白河	3.6 ( +0.9 )	+	57.5 ( 230 )	—*	9	121.0 ( 77 )	—*	— ( 25 )	—*	— ( 8 )	—*
小名浜	6.9 ( +0.8 )	+	72.5 ( 207 )	—*	7	162.6 ( 88 )	—	— ( 1 )	○	— ( 1 )	—

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+: 高い (多い)      ○: 平年並      -: 低い (少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が 10 個ずつになる) ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

かなり高い (多い)      かなり低い (少ない)

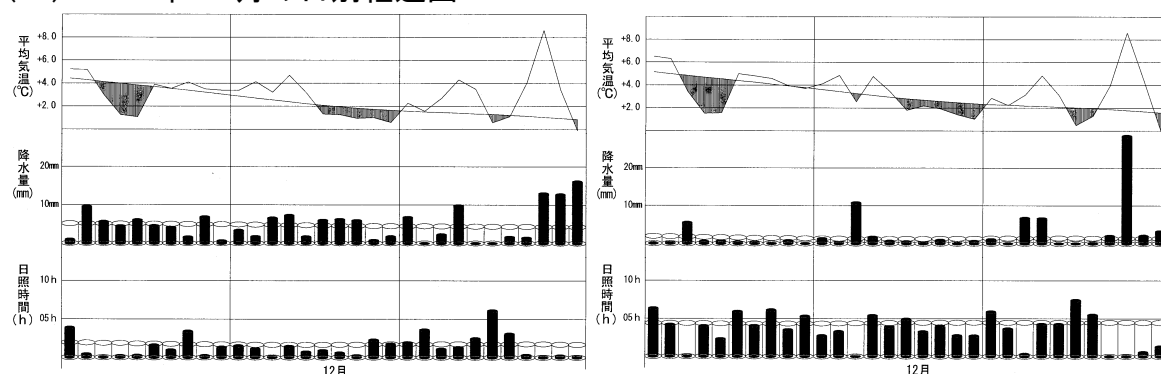
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ (日別値) に欠測等が含まれていることを示す。 ) 付きの値 (準完全値) は通常のものと同様に扱うことができるが ] 付きの値 (資料不足値) については、値の下に記載した統計日数 (統計に用いた、品質が十分な日別値の数) を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## (5) 2007 年 12 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図

東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

## (6) 2007 年 12 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	若松	39.7	55	42.0 (1992)	1953	72.0
3	白河	121.0	77	95.0 (1946)	1940	157.8

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月最深積雪大きい方からの順位更新

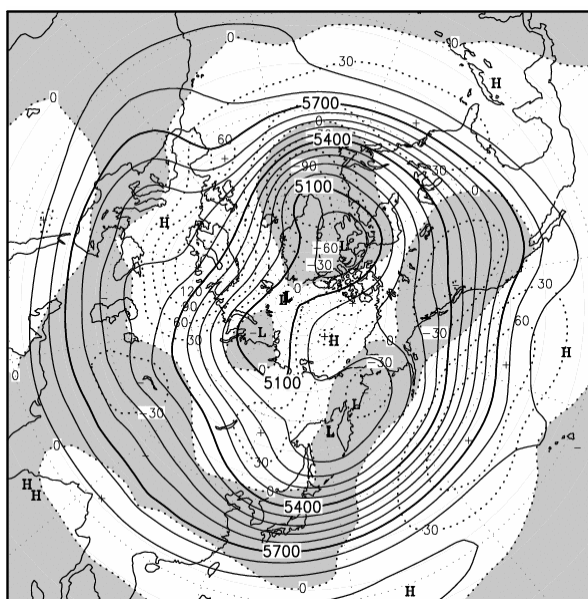
3 位以内はなし

（注）値の横に「」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。

平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

# (7) 2007 年 12 月の循環場の特徴

高緯度では、グリーンランド付近が強い負偏差。中緯度帯は太平洋中部～東部や欧州で強い正偏差、ユーラシア大陸は弱い負偏差。北極振動は寒気蓄積傾向。太平洋中部～東部で正偏差が強く、日本付近は谷場となっており、東北地方は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすく多雨・寡照となった。



2007 年 12 月の平均 500hPa 高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎  
陰影部は負偏差（寒気に対応）

# (8) 2007/2008 年寒候期 季節現象

2007/2008年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	×	10. 23	11. 19	11. 19	10. 29	11. 20	11. 15	11. 7	11. 12
秋田	×	11. 6	11. 19	11. 19	11. 13	11. 19	11. 15	11. 12	11. 16
盛岡	11. 5	10. 18	10. 22	11. 5	10. 24	11. 2	11. 16	11. 8	11. 12
仙台	11. 17	11. 06	11. 18	11. 17	11. 16	11. 19	11. 18	11. 22	12. 2
山形	11. 17	10. 24	11. 9	11. 17	10. 29	11. 19	11. 18	11. 16	12. 1
酒田	11. 20	11. 12	11. 19	11. 19	11. 20	11. 19	11. 16	11. 17	12. 1
福島	11. 17	11. 6	11. 19	11. 17	11. 11	11. 19	11. 18	11. 24	12. 3
若松	10. 24	10. 28	11. 19	10. 24	11. 6	11. 19	11. 18	11. 17	11. 12
小名浜	11. 17	11. 11	11. 25	11. 24	11. 19	11. 25	1. 1	12. 13	12. 29

\* 青森・秋田の初霜は、積雪によって霜が観測できなかった期間があり、欠測(×)となりました。

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハコウダサン	1584	10. 13	10. 16	11. 8	ガンボサン	1485	11. 16	10. 28	11. 8
イワキサン	1625	11. 2	10. 15	11. 8	雁戸山	1362	11. 16	10. 30	11. 8
岩木山	1170	11. 16	10. 31	11. 12	リョウザン	1175	11. 16	11. 6	11. 8
タイヘイザン	2038	10. 15	10. 13	10. 9	イズミガタケ	1841	10. 22	10. 23	11. 8
イワテサン	2236	10. 13	10. 9	10. 9	サオウザン	1949	10. 21	10. 21	11. 8
岩手山	1984	10. 22	10. 15	11. 8	アツマヤマ	2105	10. 22	10. 17	11. 8
チョウカイザン	1870	11. 13	10. 19	11. 8	イイデサン	1819	11. 13	10. 24	11. 8
鳥海山					飯豊山				
ガッサン					磐梯山				
アサヒダケ									
朝日岳									

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。